

広報

2011
(平成23年)

風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

11

No. 603



まちひと百景

会場湧かせる演技！ダンス！

古丹別小学校で行われた学芸会のラストは6年生による劇「サザエさん」。サザエさんファミリー以外にもカツオの同級生の中島くんやかおりちゃんの他、ちびまるこちゃんのまるこや友蔵じいさん、まるこの同級生なども出演するなど、クラス23人全員が役になりきった。

カツラやセット、後ろまで聞こえるセリフ回しやコメディ色もさっぱり出ており、すばらしい内容の劇だったが、圧巻はラストのダンス。

終幕後、会場からの大きな声援と拍手がこの作品の素晴らしさを物語っていた。

- チャリティーフェスティバルinとままえほか…2
- 本町で風力発電研究会を開催ほか…3
- 学校開放講座「筆字の楽しさを味わう」ほか…4
- 町内小中学校学芸会・文化祭…5
- 健康ばんざいほか…6
- 学びの広場…7
- 国民健康保険ガイド…8
- 国民年金・川柳…9
- すまいる情報…10～11
- 中学生ギャラリー…12

まちの人口

人口／3,575人(男／1,697人：女／1,878人)
世帯数／1,635世帯 (10月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

チャリティーフェスティバルinとままえ ～大新東株式会社が開催～



9月24日(土)とままえ温泉ふわっと駐車場で東日本大震災へのチャリティーイベントとなるチャリティーフェスティバルinとままえが大新東株式会社が主催で開催され、多くの住民等が野外での様々なイベントを楽しんだ。

大新東株式会社北海道支社の鹿内純子支社長から開会宣言の後、羽幌PMLBAバトントワラーズ、苫前鱗萃会ほか道北のよさこいチーム3団体、苫前中学校吹奏楽部など発表が行われるとともに、ヒロ青山さんによるものまねショー、武山あきよさんの歌謡ショーなども会場を大いに盛り上げた。

また、地元特産品や飲食物の販売コーナーにも行列ができ、去りゆく夏を惜しむように、来場者は楽しんでた。

花でまち、人を元気に ～レディースセミナー「花がつなげる人の輪」～

9月25日(日)公民館においてレディースセミナー「花がつなげる人の輪」が開催され、45名の参加者が花を活かした景観づくりによるまちづくりの実践についての学習を深めた。

市町村振興協会事業と共催で行われた同事業では旭川市永山で農場の魅力づくりとして周辺に花を植えたことをきっかけに英国の庭をベースに北海道らしい庭づくりを実践した上野ファームのガーデンデザイナーである上野砂由紀さんによる講演が行われた。

上野さんはテレビドラマ「風のガーデン」の庭づくりを手がけたエピソードを交え、花がもたらす癒しや人を集める魅力などを参加者に伝え、参加者もその素晴らしさを実感していた。



稲刈りの昔と今 ～学社融合事業「稲刈り体験」～



9月26日(月)に岩見の花井秀昭さんのほ場で5月に田植え体験を行い、順調に成長した稲をカマをつかった昔ながらの稲刈りとコンバインによる現代の稲刈り体験を苫前小学校(岩村直幸校長)と古丹別小学校(高谷典義校長)の5年生と教員あわせて約30名が学社融合事業で実施した。

最初は、手を切らないように慎重に作業していた児童たちも、徐々にペースが上がり、スムーズに作業を進めていたものの、後半には「腰が痛い」「腕がだるい」と昔ながらの作業に悪戦苦闘。でも、コンバインによる稲刈りはあまりの早いスピードに、便利さを体感していた。

七夕夕市の収益を食育のために ～JA青年部等が町内保育所へ寄贈～

8月6日(土)にJA苫前町駐車場で開催された七夕夕市の主催者であるJA苫前町青年部(清水勤一部長)、女性部(早川友子部長)、職員組合(中尾健執行委員長)がイベントの収益の一部を9月29日(木)に苫前保育園(青木久美子園長)・古丹別保育所(川森のり子所長)へ寄贈した。

古丹別保育所で行われた贈呈式では、これからの子ども達のために少しでも「食」についての正しい知識が身につけられるようにと、食育に関する教材を贈呈、園児たちも「がんばって勉強します」とニコリ笑顔で受け取った。



建設現場を見学しよう ～古丹別小学校現場見学会～



留萌建設協会会員企業(北海道留萌管内9市町村40社)に勤務又は経営する20歳から50歳までの青年・実年らによって組織された萌志会(堀松秀樹会長)による建設現場見学会が9月28日(水)古丹別小学校5年生12名に実施された。

本町の渡部工業株式会社の渡部和人常務取締役による道路に関する話では、道路脇に設置している視線誘導標(矢羽根)の大きさがどのくらいかを児童に質問、実物の大きさ目の当たりにした児童からは「おっきい」という驚きの声が上がった。

その後、役場建設課の伊藤優係長からの下水道の話の後、古丹別市街で行われている下水道工事の現場などを見学、建設業が生活に役立っていることがわかったようだ。

本町で風力発電研究会が開催

経済産業省原子力安全保安院主催で風力発電施設のトラブルに関する情報提供などを目的に全国で開催されている第11回目の風力発電研究会が9月29日(木)にとままえ温泉ふわつとを会場に開催された。

東日本大震災や再生可能エネルギー法案の可決などにより自然エネルギーに注目が集まっているが、風力発電については安定した電力の供給のほか、強風・落雷による設備の破損なども問題も多く、事故防止と保守管理に関する最新の情報を得ようと自治体や企業などから約70名の参加があった。

本町からも風力発電機のメンテナンスについての情報提供が行われ盛会のうちに終了した。



苫前商業高等学校60周年記念式典・記念事業



のご支援ご尽力の賜物。これからも遅く生きる人材の育成に誠心誠意取り組んでいく」と述べた。

森町長などの祝辞のあと、協賛会会長、校長から歴代校長、歴代PTA会長などへの感謝状贈呈が行われ、生徒会を代表し岡文哉会長も「1人ひとりが「自主自律」の校訓のもと成長し、社会に貢献できる人間として活躍できる人間になりたい」と挨拶し、60年を祝った。

また、10月4日(火)には公民館において、同校創立60周年記念コンサート「junko&cheep 歌旅一座」を開催、同校吹奏楽部や同校の有志によるみちくさ合唱団との共演も行われ、大いに盛り上がった。

苫前商業高等学校の創立60周年記念式典が10月1日(土)に同校体育館で挙行され、来賓や教諭、生徒など約170名が参加した。

同校は昭和26年に羽幌高等学校定時制普通科の苫前分校として開校し、翌年に苫前町立苫前高等学校として独立、昭和39年には全日制となり、昭和42年に道立高校で商業科への学科転換がされ、昭和63年に現在の現校舎となっている。

同校の小笠原茂美校長は式辞で「少子高齢化により平成7年度に学年2間口から1間口となり今日まで至っていることは、生徒を思う前向きな教職員、3千人を超える同窓生の母校への愛情、保護者や地域の方々

PTAは大変なのに役に立たない? ~ふるさと教育セミナー兼町P連研修会~



AにはPTAのミッションがあるため、まずはきちんとそれをやるのが重要と参加者に呼びかけた。

10月7日(金)公民館でふるさと教育セミナー兼苫前町PTA連合会研修会が町内の小中学校、高校の保護者・教職員・地域住民など約100名が集まり開催された。

講師はNPO法人教育支援協会の吉田博彦代表理事が、PTAや地域社会の現状と課題について訴えた。

吉田さんは、社会の変化に伴い地域や家庭の機能低下をもたらしたことにより、学校とは関係なかったものが次々と必要とされ、相対的に学校の役割を大きくしてしまった。従って学校でやることと、家庭・地域でやることの整理が必要と述べた。

また、何のためにPTA活動をやるのか明確にする必要がある。PTA

安全・安心の住民主体の地域づくりをめざして~道北ブロック町内会活動研究大会~

北海道町内会連合会・北海道社会福祉協議会が主催の平成23年度道北ブロック町内会活動研究大会が10月13日(木)にとままえ温泉ふわつとで、道北地区から約150名が参加し開催された。この事業は、上川・宗谷・留萌の3ブロックの持ち回りで開催されており、今回は留萌ブロックの当番ということで、本町での開催となった。

「安心・安全を目指した住民主体の地域づくり」をテーマに子どもからお年寄りまで誰もが地域で安心して暮らし続けるための地域の絆づくりや住民が主体となったまちづくりについて、講演や分科会を行い学習を深めた。

北星学園大学の岡田直人准教授の講演では「地域福祉活動に地域住民が参加してもらうには、求心力があるテーマ設定が不可欠であるが、そのテーマの下でどう仕掛けを作り、積み重ね、地域住民に自立性を促すかが課題」と提起した後、「できそうなところから始めること、行政と地域住民に適度な役割分担が必要」と述べ、事例などを交えながら町内会の重要性について伝えていた。



味のある筆字をより美しく・きれいに ~学校開放講座「筆字の楽しさを味わう」

10月13日(木)古丹別中学校で学校開放講座「筆字の楽しさを味わう」が開催され、定員12名が筆字の楽しさを体感した。

講師は、同校の北村安雄校長が務めた。北村校長は小学2年生から習字を始め、大東文化大学でも書道を専攻、現在は留萌管内書道教育研究会副会長を務めるとともに、書道の授業も自身が行っている。

この日も「気楽に楽しもう」をコンセプトに、なるほどという実感を味わってほしいと参加者に伝えながら、筆を走らせた。

参加者は、筆の持ち方や進め方をウォーミングアップとして体験した後、来年の干支「たつ」を楷書、行書、草書、隸書、篆書(てんしよ)から1つ選んで実際に書き、その出来映えに満足していたようだった。



歩く習慣づけに ~ノルディックウォーキング体験会~



10月15日(土)に公民館・苫前小学校でノルディックウォーキング体験会が開催され、両地区あわせて30名が参加した。

本町では生活習慣改善事業として参加者の運動習慣の習得の動機付けを図ることを目的に実施、講師はNPO法人健康保養ネットワークフィットネスアドバイザーの松葉孝二さんら3人が務めた。

ノルディックウォーキングは2本のポール(ストック)を使って歩行運動を補助し、運動効果をより増強するもので、年齢性別を問わず気軽に楽しめるのが特徴。参加者も実際にポールを使って町中をウォーキングし、膝と腰への負担なく楽に歩けること、上半身への運動効果などを体感した。

標語コンクールで入賞者へ賞状を授与 ~第61回社会を明るくする運動標語コンクール~

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生への理解と、犯罪のない明るい社会を築くことを目的に実施されている社会を明るくする運動で、この運動を展開する羽幌地区保護司会が毎年実施している標語コンクールの入賞者に対する表彰が10月17日(月)に苫前小学校の全校朝会の席上で行われ、本町の保護司である野崎信輝苫前支部長より同校の3名に賞状と盾が授与された。本町での入賞者は次のとおり。

小学校の部	優秀賞	ありがとう みんなで言えば うれしいね	苫前小2年	安達菜々美
	優秀賞	助けあおう 大きなことも 小さなことも	苫前小4年	本田 愛珠
	佳作	たのしいな みんななかよし おにごっこ	苫前小2年	横内 奨
	佳作	思いやる 気持ちがあれば いじめなし	古丹別小6年	平井 廉
中学校の部	優秀賞	悪口は 言わない書かない 話さない	苫前中3年	三好彩文南



認知症について理解を！ ~認知症サポーター養成講座~



10月18日(火)役場大会議室において認知症サポーター養成講座が開催され、町職員が受講した。これは認知症の方々が安心して暮らしていくための地域づくりを目的に「認知症を知り地域をつくる10ヶ年構想」の一環として行われている認知症サポーターを養成する全国的キャンペーンにより行われたもの。

認知症に関する基礎的知識を有している講師(キャラバン・メイト)として町民課の加賀谷之治係長、新田千佳子主任保健師より認知症とはどういうものかや認知症の人と接するときの心構えなどを具体例などを交えて説明、参加した職員も認知症を理解するとともに、認知症の方々と家族を見守り支援することの重要性を認識していた。

前をよく見て、確認をしっかりと ~留萌中部3町村交通安全女性大会を本町で開催~

交通安全意識の普及を目的に毎年開催している留萌中部3町村交通安全女性大会が10月20日(木)に本町で実施され、中部3町村の職場、団体などから約200人が参加、交通安全への意識を高めた。

主催者の社団法人羽幌地区交通安全協会連合会の本田喜芳会長は、「高齢者が被害者となる事故が増えている。これからは日が短くなるため、運転する際、道路を歩く際は注意してほしい」と述べた。

森町長と羽幌警察署の一森則雄署長の挨拶の後、羽幌警察署の赤坂清孝地域交通課長の講話では「前をよく見ること、安全確認をしっかりと行うこと」と注意を呼びかけた。その後、参加者を代表して本町の井上忍さんより大会決議文が読み上げられ、参加者全員が交通事故防止を誓った。



10月2日(日) 古丹別中学校文化祭

古中時代到来 ～笑い・感動・力とともに～

10月2日(日) 苫中祭

Believe ～みんなを信じ、自分を信じ、割りあげよう!のstory～

10月8日(土) 苫前小学校学芸会

輝こう!一人一人の力を合わせて

10月16日(日) 古丹別小学校学芸会

輝け、110%の笑顔! もりあげよう、心を一つに!



オロロン留萌中部・北部通年雇用 促進協議会からのお知らせ

季節的業務の就労者が年間を通じて働けるよう促進・支援のための事業の一環で、事業主等が厳しい状況下、生き残るための一助に講習会を開催します。

- ・日時 12月7日(水) 13時30分～15時30分
- ・場所 とままえ温泉ふわっと2階会議室
- ・定員 15名(受講料:無料 どなたでも参加可)
- ・内容 講演「変化の激しい今を生き抜く!!」
講師 行平 正樹氏 株せろり企画代表取締役

オロロン留萌中部・北部通年雇用促進協議会
(☎62-5060)

ブックカバーの寄贈

町内で本の取扱いをしている有限会社マルキ小阪商店(小阪幸徳代表取締役)と菊地書店(菊地てい子代表)が9月28日(水)に町内小中学校と公民館図書室へブックカバーの寄贈を実施、両事業所の寄贈は3年目となる。



お陰で図書がきれいに保管でき、たくさん子ども達が利用してくれるでしょう。ありがとうございました。

健康ばんざい

『月1回の確認と2年に1回の検診を』

今月の担当は宮前保健師です。

若い方、育児や働き盛りの年代の女性に多いがんが、乳がん・子宮がんです。

乳がんとは？

女性ホルモンの影響を受ける乳腺にできるがんです。日本の女性で最も増えているがんで、年間4万人が乳がんになっていきます。特に40歳代後半に多く発生しています。元キャンデーの田中好子さんが闘病されてお亡くなりになったことを、記憶されている方も多いと思います。

子宮がんとは？

子宮がんには、胎児を収める子宮体部にできる「子宮体がん」と子宮の入り口にできる「子宮頸がん」があります。検診では子宮頸がんを検査(条件に当てはまる方のみ体部の細胞を採ります)します。子宮頸がんは、ヒトパピロームウイルス感染が主因で、過去20年間で20歳から30歳代の若い方に急増中です。発生が多いのは30歳代後半です。

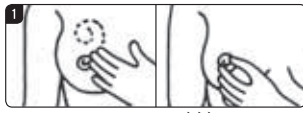
やってみよう！

セルフチェック

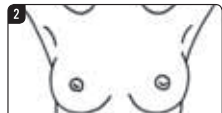
がん細胞は毎日できていますが免疫細胞が殺しているものの、免疫細胞がとりにくくなってしまふことがあります。乳がんの場合、がん細胞が15年かかって1cmの塊にな

るといわれています。しかし、1cmのがん細胞の塊が2cmになるのにかかる時間は、たった1年です。そこで大切なのが、月1回のセルフチェックと2年に1回のマンモグラフィ検査です。図を参考にチェックしてみましょう。タレントの山田邦子さんはご自身で見しました。

今日からはじめよう、乳がんセルフチェック！



1 反対の手の指で、乳房と脇の下にしじりがないか、乳首をつまんで分泌物がないかどうかチェック！



2 乳がんが進行すると、乳房のひきつれや左右差など、見た目でもわかります。鏡の前で、さっそく、チェック！



3 お風呂では、スポンジやタオルを使わず、泡立てた石けんなどをつけて、手と指でチェック！



4 仰向けになって、肩の後ろにタオルを敷いて乳房を平たく広げるようにして、乳房や脇の下にしじりをチェック！

Dr.小野の処方せん

インフルエンザ ワクチン

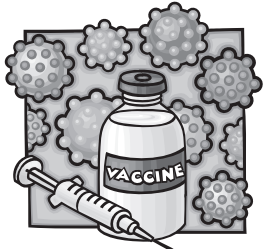
インフルエンザワクチンに含まれる株は、A/H1N1、A/H3N2 (A香港型)、B型の3種です。

毎年の変異を参考に株が決定され、3株混合されたものが製造されますので、通常、毎シーズン異なるワクチン液が造られます。

現行の日本のインフルエンザワクチンは不活化されたHAワクチンであるため、宿主の免疫状態にかかわらずワクチンウイルスが再活性化することはありません。免疫抑制剤(プレドニゾンなど)を服用している患者さんにおいては、ワクチン接種による免疫獲得が不良となる可能性があります。

疾病罹患後の接種間隔については、麻しんでは4週間程度、風しん、水痘及びおたふくかぜでは2週間程度、その他ウイルス性疾患では回復あるいは病状が安定していれば可となっています。

小児におけるインフルエンザ摂取量が変更になります。1歳未満で0.1ml→0.25ml、1～2歳で0.2ml→0.25ml、3～5歳で0.2ml→0.5mlに、6～12歳で0.3ml→0.5mlに増えます。13歳未満の接種回数は2回です。



医療法人社団オロロン会
 苫前クリニック

理事長 小野 哲郎 ☎ 64-9070

乳・子宮がん・骨粗鬆症検診

- ・期日・場所 **12月2日(金) 苫前町公民館**
- ・対象 (平成24年3月31日までに下記年齢に達する方)
 乳がん検診 40歳以上の女性 **平成22年度に受診した方は対象になりません**
 子宮がん検診 20歳以上の女性
 骨粗鬆症検診 30・35・40・45・50・55・60歳の女性
- ・受付時間

受診項目	午前	午後
骨粗鬆症検診を受ける方と乳がん・子宮がん検診	8:40～9:10	12:50～13:20
乳がん・子宮がん検診	10:00～10:30	14:10～14:40

- ・申込み方法・期日
11月22日(火)までに役場町民課けんこう係へ電話連絡で申し込み下さい。(☎64-2215)
 ※検診内容や料金は、チラシで確認願います。
- 町民課けんこう係

「献血車がやってくる」

病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、日本赤十字社では16歳から69歳までの健康な方に献血のご協力をお願いしています。

これから冬になると寒さなどの影響で献血される方が減少する季節ですので、皆様のご協力をお願いします。



- 期 日：12月1日(木)
- 場所・時間：苫前町役場 9時～11時
 苫前幸寿園 12時～13時
 JA苫前町前 13時20分～14時50分
 古丹別消防署 15時～15時30分
 苫前商業高校 15時40分～16時30分